

産業のこれからに貢献するため 理工系学部が新たなフェーズへ

大阪産業大学

Osaka Sangyo University

創立100周年を前に 理工系学部を新しい編成に

まもなく100周年を迎えようとする大阪産業大学。1928年に大阪鉄道学校として創立されて以来、産業界に貢献することを使命とし、実学的な教育・研究に注力してきた。現在は、文系学部も含む6学部13学科の総合大学として、幅広い業界へ人材を送り出している。

そんな同大学が、2025年4月に理工系学部の改編に向けて動き出している。「デザイン工学部」と「工学部」の2学部7学科体制が、「情報デザイン学部」「建築・環境デザイン学部」「システム工学部」の3学部3学科体制へと変わる予定だ（※仮称構想中）。

専門分野を極めつつ 横断的にも学べる環境を

新体制の特長の一つは、幅広い分野を横断的かつ柔軟に学べる点だ。産業の高度化・複雑化が加速する今、社会が求めるのは、スペシャリストでありながら、同時に幅広い視野と豊富な知見を備えたジェネラリストである。そのような人材を育むため、複数の学科を設置し、学びを細分化するのではなく、理工系3学部に配置するのは各1学科だけに限定する。従来の枠に縛られることなく、興味や関心に応じてさまざまな専門分野を深められる環境をつくる。

また、情報をメインテーマとする情報デザイン学部に限らず、建築・環境デザイン学部とシステム工学部でも、数理・データサイエンスを学ぶ

ことを義務づける。これは、数理・データサイエンスの知識と技術が、あらゆる業界・職業において欠かせない素養になっているからである。

入試と初年度教育を整備 文系受験生の受け入れへ

もう一つの大きな特長は、文系の受験生を広く受け入れようとする点である。新3学部の入試には、理系科目を必須としない試験も設ける予定だ。つまり、高校で数学や物理を選択してこなかった受験生にも、理工系学部に入學する門戸を開く。

同大学の小川和彦学長は、「もはや、文系・理系を切り離して考える時代ではない」と語る。例えば、経済・経営の分野では、さまざまな統計分析、すなわちデータサイエンス



(右上)情報デザイン学部では、ビッグデータを活用し、さまざまな課題の解決につなげるデータサイエンスをはじめ、高度情報社会に対応した多岐にわたる知識・技術を磨く。情報で時代を切り拓いていく人材の育成をめざしている。(右下)多種多様なデザインを追究する構想を描くのが建築・環境デザイン学部だ。製品や建築、都市、空間、環境、自然に関わる6コースを設置する予定で、持続可能な社会をつくる建築士やSDGsに貢献できる人材の育成に力を注いでいく。(左上)システム工学部にはさまざまな分野のエンジニアをめざす7つのコースを用意する計画だ。1・2年次にシステム工学の基礎をしっかりと固めた上で、専門性を磨いていく。これら3学部ともに、理系だけでなく文系出身者も学びやすい環境を整備していく予定だ。



2025年4月、大阪産業大学は理工系学部の改編を計画している。産業界への寄与を使命に掲げる同大学が、新たな体制で理工系学部を再出発させる狙いとは何か。その概要と要点を紹介する。

取材・文／一圓 玲子

2025年度理工系学部の新体制

| 情報デザイン学部 情報システム学科 | 建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科 | システム工学部 システム工学科 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 情報システムの構築方法を学ぶ ● ゲームデザインやメディアデザインを学ぶ ● 新しい情報サービスの創造をめざす ● コース設定がないので幅広い情報デザイン分野から自分で学びを設計できる ● 数学と情報の教員免許が得られる ● 文系入試を実施 <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プログラミングが好き ● データサイエンスを極めたい ● 情報技術で新しい何かをつくりたい | <ul style="list-style-type: none"> ● モノデザインコース ● 建築デザインコース ● 環境デザインコース ● 空間デザインコース ● 自然デザインコース ● 都市デザインコース <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建築士になりたい ● 環境問題に関心がある ● まちづくりに興味がある | <ul style="list-style-type: none"> ● 機械システムコース ● 機械デザインコース ● 自動車工学コース ● 鉄道工学コース ● 交通システムコース ● 電気電子工学コース ● 情報電子工学コース <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ものづくりに興味がある ● ロボットをつくりたい ● 乗り物が好き |



理工系3学部の開設をはじめ、大阪産業大学の改革をリードする小川和彦学長。

が実践されているが、高校生にはあまり認識されていない。一方で、技術の開発やシステムデザインなどに携わる「理系」の人材にも、人々の文化や社会の仕組みを理解することが求められている。

大学としても文系・理系の枠を超えた教育研究に取り組む必要があると考え、入試から変えていくことを決断した。「高校生の中には、『情報技術を学びたいが、数学が苦手な自分は試験に合格できないだろう』とか『将来はものづくりに携わりたいが、物理を選択しなかった自分にあきらめるしかない』と考える人もいる。新しい入試制度で挑戦の機会を広げたい」と、小川学長は言う。

当然、理工学の専門分野を学ぶには、数学や物理の基礎が欠かせない。入試制度を整えると同時に、理工系の基礎学力構築を目的に、高校で文系を選択していた学生向けに初年度教育も充実させていく方針だ。

Information

大阪産業大学



理工系学部のほか、文系学部である国際学部、スポーツ健康学部、経営学部、経済学部を擁する総合大学。実学教育を重視し、文系・理系の学生が協力して企業や地域社会の課題を解決する「プロジェクト共有」などを展開する。知識や技術を社会に生かす学びを通して、実践力をはじめ、コミュニケーション力、積極性、協調性などを育成。社会の発展に寄与できる優秀な産業人の輩出をめざす。

● DATA

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1
TEL 072-875-3001 (大阪産業大学入試センター)
URL <https://www.osaka-sandai.ac.jp/>

伝統の実学教育 一層の充実をめざして

大阪産業大学は、創立以来徹底して実学教育に軸足を置いている。カリキュラムには、実務経験を積んだ教員から指導を受ける実習や、第一線で働く企業人による特別講義を数多く設置している。加えて、企業や地域と連携して行う課題解決型科目や「市民地域共同発電所プロジェクト」などの課外プロジェクトも豊富だ。多様な業界で活躍する約10万人の卒業生との強固なネットワークが、この充実した実学教育を可能にしている。新3学部では、課題解決型科目を必修にするなど、

実学教育をさらに整備・発展させる。実業的な知識・技術とその応用方法はもちろん、失敗を恐れず挑戦する力、チームで協力する力、考えを伝える力、自ら学ぶ力など、これからの産業界を担う人材に欠かせない力を、実践を通して育んでいく。

同大学が掲げる建学の精神は、「偉大なる平凡人たれ」である。名誉や地位を求めず、人と社会に貢献することに喜びを感じる人材の育成に、実直に取り組んできた。産業界の現場の声に耳を傾け、学生一人ひとりの成長に目を配りながら、地道に教育・研究活動を行ってきた同大学が起こす大きな変革に注目したい。